

課題名 パーキンソン病短期集中リハビリテーション入院における管理栄養士のかかわりと今後の取り組み

【研究責任者】

栄養管理室 栄養管理室長 森下麻衣

【研究の目的】

近年、パーキンソン病の患者に対する多職種連携チーム医療の必要性が高まっている。当院では、2024 年 9 月よりパーキンソン病の患者に対し、短期集中リハビリテーション入院の受け入れを開始した。対象患者には入院中にリハビリテーションだけではなく、食事、薬剤、環境調整等について多職種が介入しサポートを行っている。本研究では、パーキンソン病短期集中リハビリテーション入院における管理栄養士のかかわりを振り返り、今後の適切な栄養管理へつなげることを目的とする。

【研究の期間】

実施許可願承認後～2026 年 2 月 28 日

【研究の方法】

対象者:2024年9月～2025年11月に短期集中リハビリテーション目的で当院に入院した患者19症例

方 法：診療録より後方視的に年齢、性別、BMI、Hoehn & Yahrの重症度分類<sup>\*1</sup>、MNA-SF<sup>\*2</sup>、GLIM基準<sup>\*3</sup>、ALB、必要栄養量、摂取栄養量、栄養指導・食事相談歴、既往歴について調査。

\*1 Hoehn & Yahrの重症度分類

：パーキンソン病の進行度を示す指標。

\*2 MNA-SF (Mini Nutritional Assessment Short-Form 簡易栄養状態評価表)

：欧州の専門家により開発された高齢者に特化した栄養スクリーニングツール。食事摂取量の変化・体重変化・移動能力・ストレス・精神心理学的問題・BMI の 6 項目から構成され、各 0～2 点または 3 点の範囲で採点し合計点数により低栄養・低栄養のおそれあり・栄養状態良好のいずれに該当するかを判定する。

\*3 GLIM基準 (Global Leadership Initiative on Malnutrition)

：2018 年に公開された、世界初の低栄養診断国際基準。低栄養スクリーニングによるリスク判定と、表現型 (phenotypic criteria)、原因 (etiologic criteria) の評価により低栄養を判定する。

【倫理審査 委員会承認日】

2025 年 12 月 22 日

【倫理審査 院長承認日】

2025 年 12 月 23 日

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

なし

◎本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

◎情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構柳井医療センター  
〒742-1352 山口県柳井市伊保庄 95  
TEL (0820) 27-0211 (代)  
研究責任者 栄養管理室長 森下麻衣